

2013 年 12 月（日本国大使館）

安 全 情 報

～2013 年上半期中におけるカンボジア犯罪発生状況等～

「自分の身は自分で守る。」をモットーにカンボジアライフを楽しく、良い思い出をつくるため、安全情報を提供させていただきます。

- 1 2013 年上半期（1 月～6 月）中の犯罪発生総件数は下記表のとおり 1,386 件と前年同期と比べてほぼ横ばい状態ですが、強盗事件は 49 件（+38%）、窃盗事件は 73 件（+19%）も増加しています。

No.	犯罪種別	2013 年 上半期(1～6 月)	2012 年 上半期(1～6 月)	増減
I	重要犯罪	436	450	-14 件(-3%)
1	強盗	178	129	+49 件(+38%)
2	殺人	132	162	-30 件(-19%)
3	強姦のみ	113	146	-33 件(-18%)
4	強姦殺人	3	3	±0 件(0%)
5	監禁（身代金目的）	2	1	+1 件(100%)
6	監禁（その他）	1	6	-5 件(-83%)
7	手榴弾攻撃	3	2	+1 件(50%)
8	硫酸攻撃	3	1	+2 件(200%)
9	通貨偽造	1	0	+1 件
II	その他の犯罪	950	967	-17 件(-2%)
1	過失（傷害）致死	8	15	-7 件(-47%)
2	窃盗	453	380	+73 件(+19%)
3	詐欺・背任	29	31	-2 件(-6%)
4	傷害	421	469	-48 件(-10%)
5	わいせつ	28	51	-23 件(-45%)
6	違法武器使用	10	12	-2 件(-17%)
7	賭博	1	9	-8 件(-89%)
犯罪発生総件数		1,386	1,417	-31 件(-2%)

2 今年9月、プノンペン市内において、邦人女性旅行者がひったくり犯に拳銃で足を撃たれてバックを強奪される事案が発生しました。

(1) 事件について

2013年9月28日（土）午後8時頃、邦人女性旅行者がプノンペン市内のオールドマーケットの角の交差点（St. 110 及び St. 13）で立ち止まっていたところ、20歳代のカンボジア人男性が徒歩で後方から近づいて来て、被害者がタスキ掛けにして左脇に抱えていたショルダーバックをひったくろうとした。その際、被害者がバックを取られまいとしてバックを掴んで抵抗したところ、犯人は拳銃で被害者の左足太腿を撃った後、被害者のショルダーバックを奪ってオートバイで逃げた。

被疑者2名は10月7日午後9時頃、別の強盗事件で逮捕され、取り調べにより同事件を自供した。

(2) 事件の特殊性

① オールドマーケットという観光地で、且つ、午後8時という人通りも多い時間帯に、バックを奪う目的で観光者に対して拳銃を発砲して重傷を負わせた事件である。

② 被害者も被害者もショルダーバックをタスキ掛けにして十分に防犯に心掛けていた。

③ 被疑者は2人組の若いカンボジア人男性で、前日のアメリカ人男性被害の拳銃使用強盗事件を含む7件の強盗事件を自供している。

(3) アメリカ人男性被害の拳銃使用強盗事件について

2013年9月27日（金）午後7時頃、アメリカ人男性が妻と一緒にプノンペン市内のイタリアレストラン（Piccola Italia）で商品を買って自宅へ帰る途中、そこから100メートル離れた場所の交差点（St. 308 及び St. 21）で、2人組の犯人にカバンと iPhone を取られそうになったため抵抗したところ、犯人は拳銃を被害者の左足に撃ってオートバイで逃走した。

3 ひったくり（強盗、すり）犯罪被害に遭わないように、また、被害に遭った場合でも被害を最小限に抑える為に、外出をする際は以下の点に留意して下さい。

○ カンボジア国内において安全な場所、時間帯はないという意識を持つこと。（前記のように、人通りが多い場所及び時間他でも拳銃使用の凶悪犯罪が発生しています。カンボジアは日本と違うという認識を新たにするようお願いします。）

○ 外を歩く際は、出来る限り手荷物を持たないようにし、可能な限り両手を自由にしておくこと。

○ やむを得ずバック等を所持する場合は、高価なバック等は避け、バックの中には高価なものは入れないこと。

- バックは肩に掛けているとひったくられやすく、また、タスキ掛けにした場合、取られにくい反面、強奪され負傷する可能性が高いということを認識すること。(引きずられる、武器を使用される等)
- 不必要に多額の現金を持ち歩かない(使用する予定の現金のみ持ち歩く)、又、ズボンの後ろポケットに財布を入れないこと。
- 夜間の外出は避け、日中でも徒歩による移動は控えること。
- 外出中は不審者や尾行者がいないか時々確認し、尾行者等に気づいたら、子供であっても油断せず、人が大勢いる商店等に待避してやり過ごすこと。
- 徒歩中にスマートフォンやデジカメ等高価なものをむやみに取り出さないこと。

※ トゥクトゥクの運転手が強盗を行うケースもあることから、以下の点に注意してください。

- 移動は、出来る限りメータータクシーを利用し、やむなくトゥクトゥク(三輪タクシー)を利用する場合には、利用したことのある信頼のできるドライバーを電話で呼ぶ、若しくは旅行代理店から紹介を受ける、或いはホテルやレストランの従業員の顔見知りの運転手を指定してもらうこと。
- 乗車してからも気を抜かず、指示と異なる方向に向かっていないか常に周囲の様子を確認する。また、指示と異なっていたり、おかしいと感じたりした場合には、人気のある明るい場所で停車させ降車すること。

4 不幸にも犯罪被害に遭遇した場合は以下の点に留意して下さい。

※ 第一に身の安全を最優先に考えること!

① ひったくり犯罪被害時

- ひったくり犯であっても、拳銃を隠し持っている可能性があるという意識を忘れないこと。

- 場合によっては、身の安全を第一に考え、バックをそのまま犯人に渡すことも考慮する。

(その為にも、外を歩く場合は①出来るかぎりバックを携行しない②バックを携行する場合でも貴重品や多額の現金を入れない。)

② 強盗等の凶器を使用した犯罪被害時

- 絶対に抵抗しない。
- 両手を挙げて無抵抗の意思を示す。
- 犯人を追跡せず、直ぐに警察に連絡する。

③ 銃器の発砲事件等に遭遇した場合

- その場に伏せる。
- 不用意に動かない。

カンボジアは安全になったイメージがありますが、犯罪は頻繁に発生しています。日本と比べて当地での生活には特に注意し、○危険な場所には近づかない。○夜間に人通りが少ない道の1人歩きはしない○深夜の不要の外出は控える○多額の現金や貴重品は持ち歩かない。○見知らぬ人を安易に信用しない。○買い物は信用のおける店を選ぶ。○ホテルの中でも安心しない。○犯罪に遭遇した場合抵抗しない。など「自分の身は自分で守る。」をモットーに防犯に心掛けて下さい。